

各科紹介コーナー

呼吸器センター外科

呼吸器センターセンター長（外科） 白石 裕治

呼吸器センター外科について紹介いたします。当科の歴史は古く1948年に複十字病院の前身である結核療養所の呼吸器外科部門として誕生しました。これまでに行った肺切除手術件数は8,500例を超えています（2023年3月末現在）。現在4名の呼吸器外科専門医がスタッフとして診療にあたり年間200件を超える手術を行っています。いずれの手術でも患者さんの負担が軽くなるよう可能な限り胸腔鏡を使った手術を行っています。当院は北多摩北部に2病院しかない肺がんの東京都がん診療連携協力病院に指定されています。肺がんについては多職種（呼吸器外科医、呼吸器内科医、放射線科医、薬剤師、理学療法士など）が参加して毎週開催される合同肺がんカンファレンス（カンサーボード）で患者さんの治療方針を決めています。また当科の特徴として、肺がん、縦隔腫瘍、自然気胸などの手術だけでなく、肺結核、肺非結核性抗酸菌症、肺真菌症、膿胸といった呼吸器感染症の手術も行っています。結核が国民病であった時代と比べて現在では感染症の手術に精通している呼吸器外科医は少なくなっており当科は貴重な存在になっています。そのため治療に難渋している呼吸器感染症の患者さんが全国から紹介されてきます。呼吸器感染症についても多職種が参加する合同カンファレンスを毎月開催して患者さんの治療方針を決めています。患者さんにとってベストな治療が受けられるような体制を整えておりますので、安心しておかかりいただければと思います。セカンドオピニオンも随時受け付けておりますので、治療方針に悩まれている方がおられましたらいつでもご相談ください。では今後ともよろしくお願いたします。



市民公開講座が9月30日に行われました!



2023年9月30日(土)に市民公開講座が行われました!新型コロナウイルス感染症の度約4年ぶりに開催することが叶いました。
当日は医師の講演のほか、清瀬市公式キャラクターの「ニンニンくん」や結核予防のことができました。
次回の市民公開講座は2024年1月20日(土)を予定しております。当院呼吸器事前のご予約や参加費用は不要となっておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

事務部 松田 源太
感染症の影響により集合型の講演会は中止していましたが、会の「シール坊や」も駆けつけ、清瀬市の魅力をお伝えする医師が呼吸器疾患について講演いたします。お待ちしております。



気管支喘息とアレルギー疾患 2023 ～基礎から最新の治療まで～

副院長 早乙女 幹朗

「アレルギー疾患対策基本法」に定められた「アレルギー疾患」は気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、食物アレルギーの6種類ですが、それ以外にもアレルギー反応による病気は数多くあります。アレルギー反応にはI型(即時型)、II型、III型、IV型の4つの類型があります。気管支喘息は主としてI型アレルギーによるもので、アレルゲンが体内に入って「感作」が起き、2度目にアレルゲンが体に入ったときにアレルゲンとIgE抗体が結合して気道に炎症が起きることで発症します。気管支喘息の治療では、アレルゲン回避対策や投薬で症状ゼロを目指します。直接肺に吸い込む吸入薬は、よく聞いて副作用が少ない薬ですが、吸入が正しくできないと効果が出ません。正しい吸入方法を医師や薬剤師に教えてもらいましょう。喘息の悪化因子であるウイルス感染、花粉症、たばこの煙、冷気吸入、大気汚染、薬物過敏症などに気を付けて過ごすことも大切です。



認知症～最新の治療について～

認知症疾患医療センター長 飯塚 友道

認知症は高齢者の二人に一人(55%)が生涯に罹患する疾患で、高齢化率が上昇するとともに患者数も増える一方です。その認知症の約7割はアルツハイマー病です。これまで、特効薬は存在しませんでした。しかし、「レカネマブ」という新薬が9月25日に厚労省から薬事承認されました。
この新薬登場は認知症対策が新時代に入ったことを意味します。
レカネマブは、アミロイドβというアルツハイマー病の病原タンパク質を脳から除去して病気の進行を抑える薬剤です。この治療薬の登場で、早期診断の精度がこれまで以上に重要となり、さらには、これまで以上に診断結果に対する責任が重くなります。
また、レカネマブの治療費は200万円以上と予想され、高額な薬剤ですが、これは認知症患者の一年間の介護費用と同程度が安いくらいなのです。通常、介護費用は10年以上継続して必要になります。その点から考え、特に経過の長い、60代～70代前半の比較的若い患者さんにとっては、間違いなく朗報です。
この新薬が患者さんご家族の希望になることを願ってやみません。



次回予告 テーマ:「呼吸器の病気について」 日時: 1/20(土) 場所: 清瀬市生涯学習センター7階アミューホール

参加費 無料

新 医師の紹介

Doctor
A la carte

おお え たかし
大江 崇



●担当科/呼吸器内科
●出身地/山形県
●出身大学、卒業年/杏林大学 平成27年卒

▶大学卒業後の主な経歴

平成27年杏林大学医学部を卒業後、東北大学病院で初期研修修了、後期研修とともに東北大学大学院医学系研究科に入学、閉塞性肺疾患、呼吸機能の研究で学位取得、以降は、盛岡医療センター、東北大学病院で臨床に従事。

▶専門医・認定医資格

日本内科学会認定医

▶趣味及び特技

読書、旅行

▶患者さんへのメッセージ

浅学非才の身ではありますが、全力で取り組みたいと考えております。何卒よろしく申し上げます。

はせがわ てっぺい
長谷川 哲平



●担当科/呼吸器内科
●出身地/東京都
●出身大学、卒業年/埼玉医科大学 2020年卒

▶大学卒業後の主な経歴

埼玉医科大学総合医療センターで初期臨床研修を修了後、同院総合診療内科/感染症科に入局。

▶専門医・認定医資格

なし

▶趣味及び特技

卓球

▶患者さんへのメッセージ

丁寧、そして患者さんの心に寄り添う医療を提供したいと思っております。宜しくお願い致します。

大地、震へる前に

規制除外車両編 1-③

内山 隆司

(前回までの経過) 参議員秘書を介し、警察庁に問い合わせしてもらったが、勤務医自家用車の規制除外は不可とのことであった。

一般的に震災時は車の新規運転は避け、移動が必要な場合(自主登院とか)は、徒歩または自転車になる。震災時の交通規制には、第一次と第二次がある。

第一次交通規制は、東京都内での震度6弱以上の地震発生と同時に発動される。**人命救助・消火活動に従事**する「緊急自動車(警察、消防、自衛隊)」以外は、「環状七号線」(下図赤破線)内部への流入は禁止される(外部への流出、う回路としての使用は可能)。

また、都内「すべての高速道路」(緑線)「外堀通り」「日光街道」「中山道」「目白・新目白通り」「甲州街道」「青山・玉川通り」(赤線)の7路線が「緊急自動車専用路」となり、「緊急自動車」以外の通行は禁止される(高速道路以外、歩行および自転車通行は可能)。

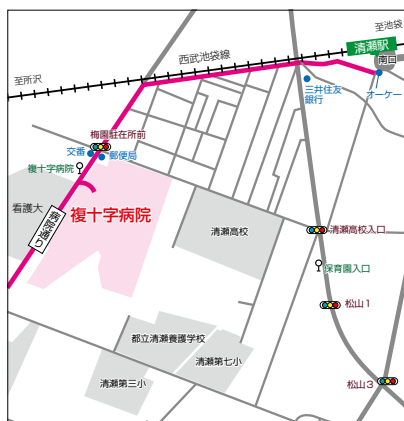
第二次交通規制は、被害状況を確認後に発動される。「前述の7路線」と「他都内主要路線のうち必要と判断された路線」(青線)が「緊急交通路」に指定され、「緊急自動車」および**災害応急対策に従事**する「標章を掲示している車両(規制除外車両)」以外は、その通行が禁止される。

清瀬近辺で、第一次交通規制の対象は「関越自動車道」だけである。第二次交通規制の対象には「川越街道」「青梅・新青梅街道」「小金井・新小金井街道」「府中街道・志木街道」が指定されるが、必ず指定されるわけではない。

病院車両の規制除外は可能で、事前届出しておけば簡便である。「規制除外車両事前届出済証」が交付され、これと引き換えに警察の検問所で「通行許可書(標章)」がもらえる。因みに、清瀬市内で検問所が設置されるのは、「清瀬郵便局前の交差点」と「水道道路と小金井街道の五差路」である。



次回 規制除外車両編 1-④緊急輸送路 に続く▶



複十字病院は
公益財団法人結核予防会の病院です

予約・紹介のご案内

- 受付時間
平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:00
- 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約
電話 042-491-9128
FAX 042-491-3553
- 再診・初診(紹介状なし)のご予約
電話 042-491-6228

複十字病院
〒204-8522
東京都清瀬市松山3-1-24
代表電話 042-491-4111
代表FAX 042-492-4765



交通のご案内

- 電車でお越しの方
 - ・西武池袋線『清瀬駅南口』より徒歩12分
 - または、バス『南口2番乗り場』より3つ目『複十字病院前』下車
 - ・JR中央線 武蔵小金井駅より『清瀬駅南口ゆき』バス『保育園入口』下車
バス停より徒歩5分
- お車でお越しの方
 - ・小金井街道『清瀬高校入口』信号を曲がり西に300メートル
 - ・所沢街道『全生園東』信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル